

2024年3月29日

各 位

オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 嶋田 順一
(コード番号 4564 東証グロース)
(問い合わせ先) 管理本部統括取締役 朴 在賢
電話番号 044 - 201 - 6429

がん抑制因子活性化創薬に関する共同研究契約締結のお知らせ

このたび当社は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（所在地 大阪府茨木市、以下「NIBIOHN（ニビオン）」）と、「がん抑制因子活性化創薬：新たな抑制遺伝子（産物）の単離およびその機能解析を通じた創薬開発」について、共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

がん分子標的治療薬の開発は、高発現もしくは遺伝子変異により高活性になった「がん遺伝子」産物の活性制御を狙うものが多いですが、一方で機能喪失になった「がん抑制遺伝子」のがん抑制活性を回復させる戦略の有効性も期待されています。がん抑制因子活性化創薬では、このようながん抑制因子の機能喪失機構を発見・研究することにより、特別な遺伝子変異に限定されず、幅広い患者さんに適応可能でかつ高い治療効果が得られる薬剤の開発を目指します。最近 NIBIOHN では、体細胞変異のない“無傷な”がん抑制因子産物に対する、タンパク相互作用阻害ペプチドによる治療耐性難治性乳がんの治療薬開発が AMED 「革新的がん医療実用化研究事業」で採択されたこともあり、当社は研究協力者（連携企業）として、原薬・製剤化検討から治験薬製造に関わる部分について協力しております。

関連リリース：https://www.oncotherapy.co.jp/wp-content/uploads/2023/10/231025_01.pdf

本共同研究では、NIBIOHN が行うがん抑制因子の活性化に関する研究成果を元に様々ながん種を対象とした創薬を行うことを目的とします。当社はがん関連遺伝子標的治療薬の創薬研究および臨床開発の経験とノウハウを提供し、新規作用機序を持つ新たな分子標的治療薬を一日も早くがんに苦しむ患者さんへ提供することを目指します。

なお、本件による当社業績への影響は現時点で軽微であります。

以上

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の概要

(1)名 称 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

(2)所 在 地 大阪府茨木市

詳細は以下URLをご参照ください。

<https://www.nibiohn.go.jp/>